

◇編集後記◇

この編集後記にて何度か触れられていますが、今年度より新編集委員会がスタートしました。新たな編集委員会では、査読プロセスの迅速化とより質の高い査読をめざし、フィールド制を採用しています。私は今期より編集委員に着任し、「メンタルヘルス/心理社会的要因 (Mental health/ psychosocial factor)」のフィールドを担当しています。着任してから約半年が経ちますが、フィールド担当者として最も苦勞しているのが、「査読者探し」です。

ご存知の通り、本誌は複数の査読者による審査を経て、採択→掲載に至るわけですが、この査読という作業は、仲間 (Peer) による奉仕によって成り立っています。各フィールドでは、投稿された論文内容に応じて査読者を探していますが、場合によっては、査読を引き受けていただける方が見つかるまでに、それなりの時間がかかることもあります。ある編集委員は、査読担当者が見つかるまでに10人にアプローチしたと言っていました。私たち編集委員は、投稿者に申し訳ない思いながらも、毎日祈るような気持ちで、査読を引き受けていただける方を探しています。

査読を引き受けられるか否かは、論文内容が自分の専門性に沿ったものであるか、時間とエネルギーにどの程度の余裕があるか、などさまざまな理由があると思います。一方で、学術論文を通じて、私たちは産業保健における最新の知識や技術を学び、時にひとりの人間として労働者の疾患、安全、健康、さらには幸せ (well-being) そのものの意味について深く思索することになります。査読の依頼は、そんな学術論文を公正に評価するのにふさわしい資質の持ち主である、という編集委員会 (大局的に見れば、産業保健領域や学術社会) からの信頼の証しとも言えます。その信頼に応え、産業保健・学術社会に貢献する誇りと充実感を、ぜひとも学会員の皆さまと共有することができるよう願っております。

編集委員会でも、みなさまに「査読を引き受けてよかった」と思っていただけのような仕組み作りを議論していきたいと考えています。学会員のみなさまのこれまでのご協力に感謝申し上げるとともに、より一層のご理解とご協力をお願い申し上げます。

(島津明人)

「産業衛生学雑誌」編集委員会

委員長：堤 明純 (北里大)
副委員長：柴田英治 (愛知医大)

編集委員：市原 学 (東京理科大)、梅津美香 (岐阜県立看護大)、榎原 毅 (名古屋市立大)、大神 明 (産業医大)、大塚泰正 (広島大)、影山隆之 (大分看護大)、小島原典子 (東京女子医大)、掛本知里 (東京有明医療大)、上島通浩 (名古屋市立大)、萱場一則 (埼玉大)、車谷典男 (奈良医大)、近藤尚己 (東京大)、榑原久孝 (名古屋大)、佐々木美奈子 (東京医療保健大)、島津明人 (東京大)、須賀万智 (東京慈恵医大)、杉森裕樹 (大東文化大)、諏訪園靖 (千葉大)、高橋 謙 (産業医大)、高尾総司 (岡山大)、田中 茂 (十文字学園女子大)、玉腰暁子 (北海道大)、中田光紀 (産業医大)、中村裕之 (金沢大)、錦戸典子 (東海大)、西田和子 (久留米大)、野見山哲生 (信州大)、原田浩二 (京都大)、平工雄介 (三重大)、廣 尚典 (産業医大)、藤野善久 (産業医大)、堀口兵剛 (北里大)、三宅達郎 (京都市保健福祉局)、毛利一平 (ひらの亀戸ひまわり診療所)、森岡郁晴 (和歌山医大)、森河裕子 (金沢医大)、森田 学 (岡山大)、大和 浩 (産業医大)

客員編集委員：田中紀子 (国立国際医療研究センター)、東 尚弘 (東京大)、八幡勝也 (産業医大)

〒160-0022 東京都新宿区新宿1丁目29番地8 公衆衛生ビル4階
電話 03-3356-1536 ファックス 03-5362-3746 振替 東京 00100-7-133495 番